

令和7年度 学校経営方針

1 教育目標

「よく考え、つくり出す子」
「みんなと、ともにのびる子」
「たくましく生きる子」

子供第一の学校

「今日も楽しかった。また明日も通いたい」

2 目指す学校像

- ・安全で心地よい学校
- ・子供を大事にする学校
- ・学ぶ喜びを知る学校
- ・地域と共に歩む学校

3 目指す児童像

- ・主体的に学び、自分の成長を喜び、学校に意欲をもって取り組む子
- ・自他の生命を尊び、相手の立場や気持ちを考えて行動できる子
- ・運動の楽しさを味わい、心身ともに健康で活力ある生活を送ることができる子

4 経営の重点

確かな学力「よく考え、つくり出す子」

(1) 授業時間を大切にする。

- 授業に意欲的に取り組み、1時間1時間の学びを充実させる。
- 忘れ物をなくし、授業時間にしっかりと学ぶ。
- 学習のめあてを意識し、学習した内容を振り返り、力をつける。
- 高学年での、教科担任制により、専門性を生かした授業で力をつける。

(2) 復習・習熟の繰り返しによる基礎学力の定着。

- 診断プリントにより、前学年までの学習内容の定着を図る。
- ドリル学習やタブレットを使った学習、学年からの課題に取り組むことで、基礎学力をつける。
- 毎週金曜日のベーシックタイムを行い、ドリル学習に取り組む。

(3) 読書に親しみ、図書を活用する力も育成する。

- 朝読書の時間の確保。おすすめの本の紹介。
- 篠崎子ども図書館と連携した図書室の活用
- 学校応援団との連携による本が大好きな子の育成

(4) 家庭・地域との連携。

- 家庭学習の時間。
- 「すごいね」と励まし、心の基地となる家庭
- 地域の方々から学ぶ。

豊かな人間性「みんなとともにのびる子」

(1) 篠四スタンダードをもとに気持ちのよい生活をする。

- あいさつや返事など、人とふれあう基本となることをできるようにする。
- 用具や靴など、身の回りの物をしっかりそろえ、気持ちの良い生活をする。
- 丁寧な言葉遣いを学び、相手と気持ちよく接することができるようにする。

(2) 学校が楽しい、と言える学校教育を充実する。

- あいさつしあえる毎日を目指す。
- 道徳教育・情報モラル教育を充実させる。
- 授業時間・休み時間・給食の時間・クラス学年の時間それぞれの充実。
- なかよし班など縦割りの交流、兄弟学年の活動など、異学年での交流を充実させる。
- 全教職員チームで子供を育てる。担任の教員はもちろん、どの教員も職員も話を聞き、対応する。

(3) 家庭・地域・外部人材との連携。

- 家庭との連携。
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携。
- 警察スクールサポーターとの連携による交通を含めた安全な生活。
- 学校応援団・子ども図書館との連携
- 学校評議員をはじめとする地域の方々との連携

健やかな体「たくましく生きる子」

(1) 運動の楽しさを味わい体力を向上させる。

- 年間を通した縄跳び運動の取り組み。（なわとびパフォーマー授業体験）
- スポーツテストでは、去年の自分に挑戦。
- 体育の授業、体育学習発表会、持久走習慣等、学習活動の中でのめあてを持った取り組み。
- 外遊びを楽しむ。
- 篠四ダンスで運動を楽しむ。

(2) 歯の健康をはじめとした、健康な体。

- 毎日の歯磨きの励行。
- 江戸川区教育委員会と連携した歯の健康の促進
- 学校医と連携した検診後の治療とケア。
- 生活習慣を整えた、健康な生活。
- 朝ごはん、給食など、健全な発育を意識した食育。

(3) 家庭・地域との連携。

- 家庭との連携。
- PTAと連携した見守り活動の実施
- 学校評議員をはじめとする地域の方々との連携